

季節の花便り

ここが世界の南限！

森の妖精 “オオウメガサソウ” まもなく開花！

～森の妖精を育んだ貴重な環境「ひたちなか自然の森」 植物保護区特別開放～
6月14日(土)～22日(日)



平成 19 年 6 月 14 日撮影

謹啓 向暑の候 皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、国営ひたち海浜公園の「ひたちなか自然の森」で、“オオウメガサソウ”がまもなく開花いたしますのでご案内いたします。

本公園の面する太平洋沖合は、寒流と暖流がぶつかる場所であることから、園内には生息域が北限或いは南限に近い生物が混在しています。中でもオオウメガサソウは本公園が世界の南限地とされており、茨城県版レッドデータブックでは絶滅危惧種に指定され、環境省レッドデータブックでも準絶滅危惧種に指定されているなど大変貴重な植物です。まるで森に舞い降りた妖精のように、高さ 10cm ほどの小さな姿に、梅に似た可憐な薄紅色の花を咲かせます。

この度、この貴重な植物を育んだ自然環境をより多くの方に観ていただき、自然への関心を深めてもらおうと、オオウメガサソウの開花に合わせて 6 月 14 日(土)～22 日(日)(休園日の 16 日(月)を除く)の間、通常は植物保護区として立ち入りを禁止している区域を特別開放いたします。

つきましては、皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしくお願い申し上げます。

謹言

お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4
ひたち公園管理センター企画課 穂積・田中・森下
電話 (029) 265-9005 FAX (029) 265-9339
※お客様問い合わせ電話番号 (029) 265-9001
ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp>

開花：6月中旬～下旬

オオウメガサソウ

イチヤクソウ科草状小低木

■オオウメガサソウとは

北半球の冷温帯から亜寒帯を中心に分布し、日本では、北海道、青森県と国営ひたち海浜公園など、ごく限られた場所に自生しています。

主に、日当たりの良いアカマツ林の林床の貧栄養な砂質土壤に地下茎を伸ばして生育し、高さ10cmほどの茎の先に、直径1cmの淡いピンク色の花を咲かせます。

環境省レッドデータブックでは**準絶滅危惧種**、茨城県レッドデータブックでは**絶滅危惧種**に指定されている植物であり、国営ひたち海浜公園が世界の南限地となっています。



■名前の由来

梅の花に似た花を咲かせるため「ウメガサ」の名が付き、よく似た「ウメガサソウ」より大きいことから「オオウメガサソウ」になりました。例年6月から7月の梅雨の時期に花が咲きますが、ひとつの個体が花をつけるようになるまでには5～7年かかると言われています。

■現在(平成20年5月31日)の状況



現在、今にも開花しそうな蕾が沢山ついています。
平成20年5月31日撮影

■その他、ひたちなか自然の森で開花する花々



左：ウメガサソウ

平成20年5月26日撮影



右：イチヤクソウ

平成19年6月14日

フォトパートナー安氏撮影

森の妖精“オオウメガサソウ” 特別公開ガイドツアー

… 森の妖精を育んだ貴重な環境「ひたちなか自然の森」植物保護区特別開放 …

1. 目的

「ひたちなか自然の森」の遊歩道の一部は、野生植物の保護・育成のため、通常は来園者の立ち入りを禁止している植物保護区となっています。そのエリアにおいて、オオウメガサソウをはじめ、ウメガサソウ、イチヤクソウ等の稀少植物がまもなく開花期を迎えます。

今回、このエリアの貴重な自然環境をより多くの方々に観ていただき、自然への関心を深めていただくことを目的として、期間限定で植物保護区を特別開放し、ガイドツアーを実施します。

2. 期間

平成 20 年 6 月 14 日(土)～6 月 22 日(日) ※但し、休園日の 6 月 16 日(月)を除く

3. 場所

「ひたちなか自然の森」(別図参照)

4. その他

「ひたちなか自然の森」入口(別図参照)に受付テントを設置しますので、受付後、観察ルートに従って進んでいただきます。

「茨城生物の会」の方々の協力により、定期的に1日7回(土日は8回)、所要時間40分のガイドツアーを行います。1回のガイドツアーの催行人数は30名です。

なお、特別開放区域への立入りは、同エリアへの負担軽減を考慮して、一度に入ることができ人数を30名に制限していますので、状況によりお待ちいただくことがあります。

5. 協力

茨城生物の会

■ 昨年の実施風景



(平成 19 年 6 月 14 日撮影)

高さ 10cm ほどの小さなオオウメガサソウを写真におさめようと、
皆さん熱心に写真撮影をされていました。

■ガイドツアールート



■トピックス ～森の妖精を育む貴重な環境「ひたちなか自然の森」～

「ひたちなか自然の森」は、面積約12haのアカマツ林を主体とする森で、かつては人々が山に入り、枝や落ち葉を採って燃料にしていた「里山」として、人と自然とのかかわりの中で保たれていた森です。

この既存の植生を最大限に活かして整備した「ひたちなか自然の森」の林床には、ハイゴケ（コケ類）やハナゴケ（地衣類）が多く、これは、林内が適度な湿度に保たれているからだと考えられます。特にオオウメガサソウはここが世界の南限地であり、本公園では、このような植物が見られる貴重な自然環境を保全し、育てていきたいと考えています。



林内(夏)



ハイゴケ